

# 校長室便り



(家庭数配付)

令和5年3月 1日  
第10号  
白井市立白井第一小学校  
校長室発行

## 卒業式について

3月になりました。令和4年度最後の1ヶ月です。各学年いろいろな形で「まとめ」の作業に取り組んでいます。6年生は、「卒業」に向けての準備を進めています。

さて、新型コロナウイルス感染症への対応が大きく変化してきました。3月13日からマスクの着用は屋内でも個人の判断になり、5月8日からは5類感染症に移行します。ただし、学校でマスク着用を個人の判断に任せるのは、現時点では4月1日以降となります。そのため本校でも、3月からマスクの着用等について大きく変化することはありませんが、「マスクを外せる場面」をより明確に、子どもたちに示していく必要を感じています。

そのような中、卒業式については「基本マスクを外す」通達が届いています。具体的にいうと、「卒業生、教職員は基本マスクを外す。在校生、保護者・来賓は、基本マスクを着用する。」となります。これを受けて今年度の卒業式において卒業生・職員はマスクを外します。マスクを外すことに抵抗を感じる卒業生もいるでしょうから、強制はしません。ですが、小学校課程を修了する儀式に素顔で参加して欲しいですし、友達表情をしっかりと目に焼き付けて欲しいと思い、マスクを外すことをお願いします。

卒業式の練習からこの方針で行います。卒業式当日には、たくさんの笑顔や決意を秘めた凛々しい顔が見られることと思います。5年生や保護者・来賓の皆様にはマスクの着用をお願いします。ご了承ください。

コロナ禍での卒業式は、「卒業生と保護者」から「卒業生と5年生と保護者」になるなど少しずつ変化してきました。今回は数名の来賓もお呼びして行います。卒業生がお世話になった方々にも、卒業を祝って欲しいと思いお招きしています。

卒業生が、小学校生活の集大成である卒業式で、立派に成長した姿を見せてくれることを期待します。今年の卒業生ならばできる。YOU can do it! です。



## 日本工業の力

先月5年生と一緒にJFEスチール（製鉄所）とフクダ電子アリーナの見学に行ってきました。この校外学習はNIE活動の一環として、NISの能登さんの紹介で実現したものです。私自身、長年製鉄の仕組みについて授業で教えてきましたが、実際に製鉄所を見学するのは初めてでした。

鉄ができるまでを映像で見た後、バスに乗って鉄を延ばしてロール状にする工場まで移動しました。1000℃以上の鉄の塊が厚さ数ミリの鉄板になるのですが、これが1本のレーン上で行われます。その長さ、なんと600m。その全てを見せていただきました。ものすごい熱気と轟音の中、真っ赤な鉄が徐々に形を変え、きれいな鉄板になっていく過程は迫力があり、驚きの連続でした。鉄は近代産業の根幹です。そのため「産業の米」と言われてきました。日本が戦後、経済復興できた1つの要因が製鉄業の発展だと思います。その製鉄業の技術の高さを目の当たりにして、「やはり、日本はすごい。」と感じました。いや～、いいものを見せていただきました。

しかし一番驚いたのが、この工場から道路1本挟んだ隣に大型のショッピングセンターがあり、フクダ電子アリーナを含めた運動公園があることです。粉塵まみれになる巨大な製鉄工場と人々の生活が隣り合わせで共存できる「都市型工場」と呼ぶそうですが、これが可能になる環境保全技術の凄さ。日本の製造業の底力を感じました。大人になってからの工場見学もいいものです。

子どもたちも、いろいろなことを感じ取ってくれたでしょう。

有意義な一日になりました。

